

サワギキョウ

Lobelia sessilifolia Lamb.

キキョウ科

石川県カテゴリー

絶滅危惧Ⅱ類

国カテゴリー

該当なし

選定理由

生育地に限られ、個体数も少ない。(現況:R-)

形態

茎は中空で高さ150cmを越え、分枝しない。葉は互生して多数つき、披針形で長さ4~7cm、低鋸歯があり、柄がない。上部の葉は次第に小型になり、苞として、その腋に花を付ける。花は濃紫色で、左右相称、上唇は2裂し、下唇は3裂し、裂片のふちに長い毛がある。雄しべは合着して筒を作り、その内部へ花粉を放出する。

国内分布

北海道~九州。

県内分布

中能登区、南加賀区。

生態など

雄しべ先熟の多年草。花期は8~9月。茎は倒れやすいが、すぐに屈地性で起き上がる。

生育環境

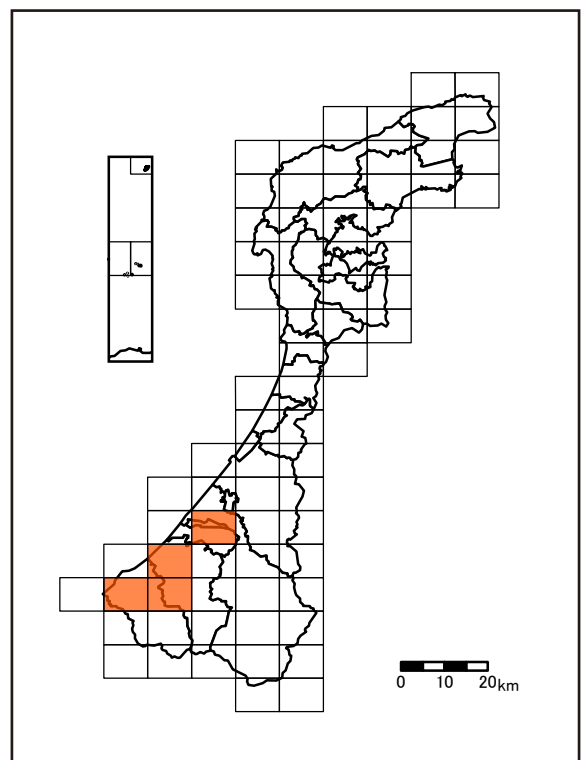
日当たりのよい湿地。

危険要因

湿地開発、土地造成、自然遷移、園芸採取、産地局限。



本多郁夫・2008年9月9日・加賀



県内の分布